

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



ガバナー月信
Vol. 7

Copy for members

2021
January

1

To Club Presidents and Secretaries in District 2790(CHIBA)



元旦の太陽と輝く青い海・青い空がコロナ収束と医療従事者への応援メッセージと感謝をこめて。

日本のロータリー 100 周年

小松 隆 (1886 ~ 1965)

13 歳の誕生日を前に単身渡米、ハーバード大学院卒業。1929 年東京 RC 入会。1940 年、戦時下において東京 RC は解散、2 か月後に東京水曜クラブが結成される。1946 年から 2 年間、東京水曜クラブ会長就任。1947 年ロータリー復帰協議会初代会長。戦後、その人格堪能なる英語力、また米国での多数の人脈、及び交渉力により、日本のロータリーがいち早く国際ロータリーに復帰するにあたりその功績は絶大であった。1949 年東京水曜クラブ解散後、東京 RC は国際ロータリーへ復帰した。1954 年第 60 区ガバナー就任。ロータリー以外にも 1950 年日米協会第 4 代会長就任など、戦前戦後 20 年間、心身を傾けて日米間の親善に尽された。

国際ロータリー第2790地区 ガバナー 漆原 摂子

地区スローガン「クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！」

ロータリー特別月間／職業奉仕月間



ロータリーは機会の扉を開く

職業奉仕月間によせて



国際ロータリー第 2790 地区

2020-21 年度 ガバナー 漆原 摂子 (勝浦 RC)

新年を迎えて

新年明けましておめでとうございます。さて年末年始は、カウントダウンのイベント、或は初詣などの密を避けてお過ごしになった方々も多いかと拝察致します。帰省などもオンラインが推奨される時代です。リアルに知人友人と会う事の叶わないもどかしさも承知しておりますが、引き続き、安全第一での生活が続くと思われます。地区セミナーにおきましても、各委員長そしてチームのご尽力により、オンラインを併用した形が定着しつつあり、私たちは一つの新しい扉を開いたと確信しております。

ロータリー研究会

昨年 11 月 24 日にロータリー財団地域セミナー、翌 25 日にはロータリー研究会がオンラインにて開催されました。対象は国際ロータリー 1a.2.3 地域(つまり日本全国です)のバスターガバナー・ガバナー・ガバナーエレクトやガバナーノミニ、地区ロータリー財団委員長などで、国際ロータリーとロータリー財団の現況や 5 年見通し等の報告がありました。クナーク RI 会長は、コロナと共生する時代に突入したことに触れ、クラブの在り方やそのモデル、例会の方法等に多様性・柔軟性を持たせることの大切さ、そしてクラブの活動においては、創意工夫をもって、RI の 4 つの行動計画の「適応力を高める」の実践を強調されました。会員の皆様におかれましては、どうか無理をせずに、しかし「コロナ禍だから何も出来ない」の状況から、「コロナ禍の中でもこれだけ出来た」と、可能性のある活動の実践の模索をお願い致します。

DEI

ロータリー研究会でもう一つ印象に残った言葉があります。それは DEI という言葉で、D=Diversity (多様性)、E=Equity (公平さ)、I=Inclusion (開放性) との事です。多様性は 5 つの中核的価値観の一つであり、公平さは 4 つのテストの「みんなに公平か」そのもので、開放性はローターアクトクラブを国際ロータリーに迎え入れることであるとの説明がありました。国際ロータリーはこの DEI を推奨・実践してゆくという事です。私見でございますが、国際ロータリーの新たな標語として加わる気配を感じております。

職業奉仕

今月は職業奉仕月間です。公式訪問の折にご紹介した、クナーク RI 会長のメッセージにも、「日本のロータリアンは職業奉仕と親睦を大切にしています」とあります。大変日本の事情に精通された会長でいらっしゃいますね。過去からの礎は職業奉仕、即ち自分の職業や活動を通して社会に貢献すること、これは今も昔も変わらない、一つの大切な定義です。日本においては、職業奉仕の理念を説き学ぶ事に重点が置かれがちですが、自分のスキルを活かして奉仕活動の実践に役立てる事も職業奉仕の範疇に含まれております。ここで思い出すのは、2017-18 年度の当地区ガバナー・寺嶋哲生氏の掲げられた地区スローガン「理念と実践」です。理念の選択は実践を否定せず、実践は理念を否定しない。理念なき実践は時には凶器となりうるし、実践なき理念も時には空虚なものとなりうると思います。職業奉仕についても、理念と実践が共生すべきであり、それが相乗効果を生み、自分自身の、あるいは周囲の人々への、新しい機会のドアを開くことに繋がると信じています。

新年のご挨拶



「新時代のロータリーに向けて」

国際ロータリー第 2790 地区
ガバナーエレクト

梶原 等 (千葉 RC)

皆様と共に迎えられた 2021 年の幕開けにお喜び申し上げます。

さて、例年ですと 1 月中下旬にガバナーエレクトとして最後の研修になります国際協議会がアメリカで開催されます。今回はアメリカ東海岸のフロリダ州オーランドにて 2/5~11 迄開催される予定でした。緊張感をもってその日を待ち望んでおりました

が、コロナ禍が依然終息されない為 10 月下旬の RI 理事会で今回は国際協議会をリモート開催する事と決定されました。日本国内の 34 地区のガバナーエレクトは動揺しながらも WEB 国際協議会でどの様に学び、又、同期ガバナーの結束をどう構築するかという新たな課題にも挑んでおります。今までに経験したことの無い WEB 研修協議会は今後のロータリーの新たな方向性を示唆する意味合いも含んでいるものと感じております。又、例会のスタイルや奉仕活動の在り方も変化していかなければなりません。その先頭を進む意味でも国際協議会参加の報告と新年度の RI テーマを楽しみにお待ちしております。



「新年のご挨拶」

国際ロータリー第 2790 地区
ガバナーノミニー

小倉 純夫 (松戸 RC)

新年明けましておめでとうございます。

昨年は日本のロータリーにとって 100 周年の記念すべき年でした。しかしコロナ禍によってお祝いをする事ができませんでした。まさにコロナに明け暮れた 1 年でした。各クラブにおいても例会の開催ができず、会員同士一堂に会する機会が減り、会員の退会防止にご苦労されたのではないのでしょうか。残念ながら本年も当分の間コロナ禍により先の

見通しができない状況が続きそうです。

しかし、この様な時にこそロータリーの存在意義や在り方を考え、今できる奉仕と親睦を考える時です。昨年できなかった分を「倍返し」してその実践に励みましょう！

アフターコロナはロータリアンにとって奉仕の理念を地域、世界に実践する機会を提供してくれます。社会の急激な変化や予想し難い災害、パンデミックの中でもロータリーが本来進むべき奉仕の理念とその実践に取り組みましょう。日本のロータリーにとって今後の 100 年を目指し、長年培われてきたロータリー精神を地域、世界に広げる第 1 歩にしましょう！

本年が皆様そしてクラブにとって輝かしい 1 年になりますようお祈り申し上げます。



「新年のご挨拶」

国際ロータリー第 2790 地区
ガバナーノミニー・デジグネート

鵜沢 和広 (千葉若潮 RC)

新型コロナ禍の中でなかなか先の見えない不安な日々が続きますが、新年のスタートにあたりご挨拶を申し上げます。

私は昨年 10 月に GND の指名を頂きました。これから来たる日に備えて勉強して参りますので宜しくお願い申し上げます。2019-20 年度はガバナー補佐を務めましたが、千葉県を襲った二度の大きな

台風と、後半は新型コロナウイルスのパンデミックにより例会の中止が相次ぎ、ほとんどのクラブへの最終訪問が出来ず心残りな一年を送ることとなりました。新年度が始まって各クラブの例会がやっと再開されましたが、まだまだ多くの制約を強いられているようです。理事会や委員会などはリモートを活用して円滑に開催されることが望ましいと考えますが、やはり例会は会員同士が直接顔を合わせて『やあ』と言う事が大切だと考えております。一日も早く安心して例会が開催されますよう、そして皆様と心をつなげてロータリー活動に励めますよう今年がそのような一年になります事を願っております。

コロナ対策地区補助金事業を活用した 市内医療機関支援マスク寄贈と時計塔寄贈の報告

浦安ロータリークラブ

会長エレクト 周藤 行則

(職業分類：獣医師)

国際ロータリー第 2790 地区会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年は世界的な新型コロナウイルス蔓延拡大の影響で、当地区ロータリー活動にも多大な支障が出ました。もちろん我が浦安ロータリークラブも例外ではなく、一時例会休止となりました。しかし現執行部の尽力でリモート懇親会、例会時 ZOOM の導入、三密を避けた会場設営など感染防御を徹底して例会を再開いたしました。このような活動制約がある中、我々は地区補助金を利用した社会貢献活動を実施したので、報告いたします。2020 年 4 月 25 日 RID2790 財団統括部門櫻木英一郎統括委員長名による「コロナ対策事業に関わる補助金の今回限りの特例措置」の通達がありました。これを受けて、浦安 RC では早速「通常の地区補助金申請」を実施し受理されました。2020 年 5 月 16 日は甲斐会長、小林幹事、太田事務局によるマスク配布を行い、5 月 18 日は齋藤副会長、小林幹事、太田事務局によるマスク配布を実施しました。

配布先は、会員内医療機関 10 か所と介護施設 1 か所で、合計 8,000 枚のマスクを寄贈しました。私自身もマスク寄贈を受けました事、この場を借りて改めて感謝申し上げます。

当時マスク流通が逼迫し、診療業務に支障が出る状況で、不安を覚えていました。予期せぬマスク配



布で、改めてロータリアンで良かったと思いました。私一人ではない、仲間のロータリアンに支えられて生きていると痛感いたしました。

今回事業の追加申請を決断頂きました地区ロータリー財団統括部門の櫻木英一郎統括委員長始め、各委員の皆様にご心から感謝申し上げます。また、浦安 RC では創立 40 周年記念事業の一環で、新浦安駅ロータリーに時計塔を設置し、浦安市役所に贈呈しました。同塔は夜間照明も設置され、時計下部にロータリー徽章、土台には日本語と英語の「四つのテスト」を設置し、周囲を花壇で囲んでいます。市民の要望に応じて実現した時計塔は必ず皆様の生活に役立つことでしょう。本来は前年度事業でしたが、コロナ禍で工期遅延いたしました。

今回ご尽力頂きました浦安 RC の皆様、八千代中央 RC の小池様、浦安市役所関係者各位に感謝申し上げますとともに、中心となって実働奮戦した海老澤剛充会員に敬意を表します。



「クラブ内でのロータリー談義を熱望しています」

第2790地区 ロータリー研修委員会
委員長 海寶 勘一
(千葉西 RC)



「ロータリー談義の集い」は全82クラブを14回に分けて、草の根的に少人数での「こじんまり」と和やかに開催することにあります。特徴は、直前諸岡PDGから関口パストガバナー（PDG）年度にさかのぼって7名の招請PDGが交互にアドバイザー役として参加をお願いしたことと、開催場所がガバナー事務所会議室であることが挙げられます。

参加クラブ会員と委員会メンバーとの家庭的な落ち着いた炉辺会合をイメージしたロータリー談義を通して、クラブを超えた仲間が互いに知りあい、学びあう喜びを共有して頂きたいと願っています。

研修に特化した難しい話題で議論を交わすのではなく、座学をもって知識を詰め込む会合でもありません。ロータリー談義の集いを通して基本的なロータリー理念や情報に一層親む事が根幹であることを知って頂きたいのです。更には、アドバイザーとして招請した、PDGが体験された話題を傾聴することで、気軽なロータリーを語りあう交流の時空ができることを期待しています。

11月末までに3回開催してきましたが、参加された方からお預かりしたアンケート用紙から受け止めることは、「胸襟を開いて語り合えた」ことや、「研修の必要性和他クラブ会員と共に修学する喜びを分かち合える時空」が記述されて、沢山の気付きを受け止めています。本年4月まで半年間で全14の集いが終わってから、ガバナー事務所での少人数で語り合った体験が、各クラブの中で芽がでて花開き実のなることを願っています。

委員会活動の最終目標は、地区スローガンになっている「クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！」目指すことと、クラブの戦略計画がクラブビジョンと共に有効に価値を高めることにあります。参加するクラブ事

情は様々でしょうが、公平と平等を真とするロータリアンは何時もクラブ内でのロータリー談義は大切に心得ますし、忌憚なく語り合える仲間との時空は嬉しいものです。いつでも素直な気持ちになって、互いに心許す信頼しあう真の友人達と毎度の例会が開催されていることは貴重です。一人一人が胸襟を開いて語り合いする学びは価値があります。ロータリアンとしての日々の活動から得る享受は沢山あり、会員歴に関係なく自己研鑽に結びつき、精神的な充実感の喜びになるでしょう。

ロータリーを知り学ぶことから、一層奉仕の理念が理解できロータリーの愉しみが深まります。お一人お一人が、ロータリーの扉を開きビジョンを持てることを念じています。今後に於いて、各クラブで何気に行われるロータリー談義が日常化してくれて、お互いが切磋琢磨し合う利徳となり、自己研鑽を通してクラブの活性に結びつくことを期待します。

各クラブから参加された皆さんが、PDGから薫陶を受けて和やかなうちにも、ロータリーの根幹である自学自修の大切さを改めて認識しあう学びの場として頂くことを願っています。今後も、管理運営統括委員会の堀内統括委員長を筆頭にして、ロータリー研修委員会一同が誠心誠意の奉仕の心で活動して参ります。



「ロータリー談義の集い」第2回に参加して

第1地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 橋岡 久太郎 (佐倉中央 RC)
パストガバナー



謹賀新年 今年もよろしくお願い申し上げます。

地区ロータリー研修委員会(海寶 勘一委員長)の企画で今年度行われている「ロータリー談義の集い」にアドバイザーとして参加しました。

漆原摂子ガバナーの地区運営方針(ホルガー・クナー ク RI 会長テーマ「ロータリーは機会の扉を開く」)を受け「クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を!」のもとに、我々ロータリアンの使命、ロータリー精神、ロータリアンの誇りとインスピレーション、等をクラブやグループの枠を越えて集い、自由闊達な談義を通して自己研鑽を深め研修の重要性を再認識する素晴らしい集いでした。

参加者は、地区管理運営統括委員会の堀内 正一統括委員長はじめ、入会歴も3~30年余り、クラブ会長、各委員長、委員、と偏りのないメンバー構成で委員会の割り振りに感服いたしました。

集いの話題は、クラブの現状、自らのクラブとロータリー観、ロータリーの基礎的な研修を受けたか、またロータリーの精神や理念への考え思い等多岐にわたりました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の為、各クラブからは推薦された1名のみの参加となりましたが、参加された方には、この集いを通じて得たエッセンスを

持ち帰って頂き、各クラブの戦略計画策定等へと役立てて頂きたいと思います。

ロータリーの創生期より、長きに亘り行われている炉辺会合(ファイヤーサイドミーティング)は斯くあるのだろうと想像が膨らんだ素晴らしい企画です。

全14回、7名のパストガバナーが交互にアドバイザーを務めます。

地区内の全てのクラブにご案内が行きますので、是非ご参加ください。

必ずや新たなロータリーの扉が開きます。



「ロータリー談義の集い」第3回に参加して

ロータリー文庫運営委員会委員長 青木 貞雄 (成田コスモポリタン RC)
パストガバナー



地区ロータリー研修委員会が企画した「ロータリー談義の集い」第3回(11月7日開催)に参加しました。

社員1万8千人の大企業で、外国人をも相手にする40年間の企業人生を通じ、多様な価値観への適用力、課題改善及び目標達成に必要な妥協・寛容力等を身に着けたこと、成田空港転勤時に業務引継ぎの一環でロータリーに入会したこと、当初は例会出席が月1回の不良会員が18年後にガバナーになった経緯等について、その後、運営委員長を務めるロータリー文庫の意義と現状を、私が、最初の30分間で話しました。

昼食後の2時間は、海寶委員長の司会進行で、会員歴が1~22年の参加者5名(周藤/浦安・栄倉/千葉東・島田/銚子・石井/佐倉、岩佐/流山中央の各氏。体調不良で1名欠席)に、堀内統括委員長、大内・小篠・及び吉岡さんを交え、和やかな雰囲気の中「私にとってのロータリーとは」を中心に、忌憚のない意見交換を行いました。

入会動機、ロータリー活動体験、所属クラブの雰囲気・活動等は各々異なりますが、皆さんが一様に、ロータリー

を通じて人生が豊かに、そして視野が広がったとコメントしたのが印象的でした。他クラブの活動を知る良い機会であったとする反面、ロータリー情報研修強化を求める声が多く出ました。ロータリー活動をより有意義なものとしてクラブの活動活性化を図るには、このような他クラブの活動を知ると共に、クラブを超えた会員間意見交流の場を増やす必要があると思いました。



第1グループ 情報研修会及びIM 報告



「クラブの活性化と例会出席」
2020年11月8日(日)

ガバナー補佐
第1グループ担当

宮崎 俊雄(浦安RC)

コロナ禍の中、今年はロータリー活動が制約を受けている状況でありましたが、ロータリー情報研修会とIMは第1グループの会長・幹事会において協議検討し、同時開催することに決定しました。

11月8日(日)に会員85名出席の元、浦安ブライトンホテル東京ベイに於いて実施しました。

情報研修会では、地区リーダー育成会議議長の宇佐見パストガバナーにテーマを「クラブの活性化と例会

出席」として基調講演をいただき、本年度漆原ガバナーの「クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！」の地区スローガンに的を得た講演としていただきました。

IMにおきましては、ロータリーの勉強から少し離れ、会員相互の親睦に重点を置きました。講演者として東京オリンピック、フェンシング代表選手候補者であり、ロンドンオリンピックの団体銀メダリストの三宅諒選手の講演と、フェンシング選手2名によるエキシビジョンマッチを堪能致しました。



第3グループ 情報研修会報告



「ロータリーはコロナに打ち克つ」
2020年11月26日(木)

ガバナー補佐
第3グループ担当

藤澤 武彦(千葉RC)

新型コロナウイルス感染症の第3波の最中2020年11月26日、三井ガーデンホテルを主会場、各クラブ例会場を副会場としてZOOMで繋いで情報研修会を開催しました。「ロータリーはコロナに打ち克つ」をテーマに、第1部『新生活様式下における例会開催方法と課題』、第2部『ポストコロナ・ウィズコロナにおけるロータリー活動の維持強化』について7クラブ代表者(会長5名、幹事2名)によるパネル・ディスカッションを行いました。

コロナ禍における開催でもあり、主会場は各クラブからの参加は10人までとし、1テーブル4人掛けでソーシャル・ディスタンスを十分にとって開催し、また直接主会場に出席できなかった会員は各クラブの例会場

に参加していただきました。

各クラブからコロナ禍における例会開催や奉仕活動の中止や実施の現状が報告され、また「大人数で奉仕活動を行うことが難しい現状では、職業奉仕の大切さを再確認している」「今は耐えるとき、自分の弱点を強化し足元を固めていく時としたい」という意見も出されました。

最後に各会場からコメントや感想を話してもらい、会を終了しました。「Real」と「on line」を組み合わせる形でロータリーの現状と課題を共有することができ、RI会長や漆原ガバナーが強調されているデジタル時代への適応力を高める情報研修会であったと考えています。

会開催に尽力いただいた全ての会員に感謝を申し上げます。



第5グループ 情報研修会報告



「今できるロータリー活動を考える」
2020年10月24日(土)

ガバナー補佐
第5グループ担当

窪田 謙(富津シティRC)

当年度第2790地区第5グループにて「今できるロータリー活動を考える」をメインテーマに情報研修会を開催致しました。コロナ禍の中ロータリー活動をどのように実施するのか、どのような活動をすれば良いのかを、諸岡靖彦パストガバナーにご講演を頂きました。さらに各クラブ代表者にクラブの現状とこれからの活動を発表頂き、ご自分の経験を踏まえたこれからのロータリー活動、困難な状況だからこそ前向きなロータリー活動への意欲等の貴重なお話をお聞かせ頂きました。また各クラブ代表者の方も共通してこの状況だからできないのではなく、活動実施するにはどうするのかという前向きな発表を頂きました。

今回、グループ内の皆様と一緒に今できるロータリー活動、これからのロータリー活動を考える時間を共有できたことは、RIのテーマである「ロータリーは機会の扉を開く」を実践する事のヒントになったのではないかと思います。そし



て情報研修会で得た事を各クラブに持ち帰り、漆原ガバナーが掲げた地区スローガン「クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！」を各クラブには是非実践をして頂き、今後のクラブ活動の活性化に繋がる事こそ、今回の情報研修会を行った趣旨に繋がると思います。

最後にコロナウィルスの終息の見通しはつきません。皆様と一緒に協力して助け合いながらコロナウィルスに打ち勝ち安心してロータリー活動を実施できるように頑張りましょう。当会が会員の皆様にとってが有意義であった事、そして諸岡パストガバナーをはじめ皆様のご協力に感謝申し上げます。

情報研修会開催にあたり、参加者へのマスクの着用、会場内入場の際の検温、手指消毒の徹底は、もちろん各クラブの参加人数を6名とし、席も一人一席、演台や二人席には、パーティションの設置を行い新型コロナウイルス感染拡大の防止の徹底を図り開催致しました事をご報告させていただきます。

第11グループ 情報研修会報告



「ロータリー財団と奉仕活動」
2020年11月6日(金)

ガバナー補佐
第11グループ担当

鈴木 桂三(柏西RC)

新型コロナウイルス感染症拡大の第3波の襲来を予感される中、細心の注意を払いながら、第11グループの合同例会及びロータリー情報研修会を11月6日柏クレストホテルに於きまして開催いたしました。

ZOOM参加者7名を含めまして総勢124名の参加者の下、ゲストスピーカーとして地区職業社会国際奉仕統括委員長の水野晋治さんをお招きしまして「ロータリー財団と奉仕活動」について1時間にわたり基調講演をしていただきました。ロータリーの基本的なことからポリオの根絶、そしてクラブの奉仕活動活性化のために

も地区補助金、グローバル補助金の活用必要性等について解り易く丁寧にお話をいただきました。中途退場する方もほとんどなく、とても内容のある充実した情報研修会になりました。

今年度はRI会長のテーマ「ロータリーは機会の扉を開く」と漆原ガバナーの地区スローガン「クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！」に関連した合同例会の実施を計画しております。次回のIMにおきましては前年度の地区大会でRI会長代理としてお招きいたしました元RI理事北清治さんにRI会長のテーマに関連したお話をいただく予定になっております。



第13グループ 情報研修会報告



「ロータリーについて学ぼう」
2020年11月10日（火）

ガバナー補佐
第13グループ担当

山田 正記（松戸西RC）

コロナ禍の中であるため情報研修会を開催すべきか否か議論はあったものの、ロータリー活動に制約のある時期だからこそ研修を行い、ロータリーについて学ぶべきである、という漆原ガバナーの意向にしたがって、情報研修会を11月10日に森のホール21で開催しました。

当日は、リアル出席者119名、リモート参加者10数名を数えました。

基調講演は、青木貞雄地区研修リーダーから「ロータリーについて学ぼう」と題して、ロータリーの現状、ロータリーの歴史、ロータリーの規制緩和

和、職業奉仕に対する考え方・見方、ロータリー財団、DLPとガバナー補佐制度等内容は多岐に渡りました。

そして、RLI推進委員会の齋藤由紀氏からRLIについてのPRがあった後に、第13グループ5クラブから各クラブで実施されている研修の取り組みについての発表があり、最後に得居仁パストガバナーから講評をいただきました。コロナ禍ではありましたが、盛況で、実施して良かったと思いました。



第14グループ 情報研修会報告



「ロータリーの歴史を学ぼう」
2020年11月14日（土）

ガバナー補佐
第14グループ担当

伊藤 義雄（野田RC）

11月14日に、ビジネスホテル野田にて第14グループ情報研修会が61名の参加者で開催されました。

今年度は、コロナ禍の大きな時代の変化を日々過ごす中で、改めて原点回帰すること、様々な活動が制限され各クラブも思うような活動ができない現状を鑑み、このような時だからこそクラブの垣根を越えた学びや考えの共有の必要性をテーマに「基調講演」と「RLI推進委員会からのご案内」という構成で、感染拡大防止に細心の注意を払いながら行いました。

基調講演では、講師に青木貞雄パストガバナーをお迎えし、ロータリーの誕生から「沿革」「目的」「組織」「活

動実績」について、「クラブと国際ロータリー、国際ロータリーとロータリー財団」の関係性、「国際ロータリーの地区再編の変遷」と「当地区グループ再編の所見」について懇切丁寧にご講義いただきました。

RLI推進委員会からの案内では、実行委員会の山本衛委員より、「RLIの理念・現状・カリキュラムの構成・プログラム」についてお話いただきました。

コロナ禍の開催でしたが、真摯に傾聴する会員の皆様を見るにあたりロータリアンの誇りを感じ取ることができた情報研修会となりました。

最後に、参加者皆様のご協力に感謝申し上げ、報告とさせていただきます。



叙勲・褒賞・表彰（敬称略）

藍 綬 褒 章



西村 清
(八街 RC)

財務大臣表彰受賞



田中 保生
(船橋 RC)

寄付者紹介（敬称略）

ロータリー財団寄付

メジャードナー



青木 忠茂
(船橋 RC)



森島 庸吉
(船橋西 RC)



宮野 宗雄
(八千代 RC)



崎山 征雄
(習志野中央 RC)



高木 恒雄
(船橋西 RC)
9 回目



石井 伸一
(鎌ヶ谷 RC)
9 回目



金本 元章
(柏西 RC)
8 回目



塚本 英夫
(柏西 RC)
8 回目



荒木 賢治
(柏東 RC)
6 回目



藤原 泰治
(柏東 RC)
5 回目



長瀬 芳一
(鎌ヶ谷 RC)
4 回目



高梨 薫敏
(勝浦 RC)
4 回目



鈴木 勝彦
(八日市場 RC)
4 回目



池田 博
(習志野中央 RC)
4 回目



中村 満
(勝浦 RC)
3 回目



江波戸 正雄
(八日市場 RC)
3 回目



平山 秀樹
(成田 RC)
3 回目



長岡 哲也
(柏東 RC)
3 回目



星本 慎児
(鎌ヶ谷 RC)
2 回目



羽山 信一
(館山 RC)
2 回目



佐藤 興二
(館山 RC)
2 回目



鈴木 英人
(八日市場 RC)
2 回目



櫛田 仁一
(柏西 RC)
2 回目



伊藤 実
(柏東 RC)
2 回目



佐々木 るみ子
(柏東 RC)
2 回目



井本 良三
(習志野中央 RC)
2 回目



平田 英雄
(館山 RC)
1 回目



加藤 仁
(館山 RC)
1 回目



橋本 和治
(印西 RC)
1 回目



三井 文子
(柏東 RC)
1 回目



石井 晶子
(柏東 RC)
1 回目



塚越 立太
(柏東 RC)
1 回目

新ポール・ハリス・フェロー



三井 啓久
(八千代 RC)
1 回目



田中 保生
(船橋 RC)



前田 昌男
(船橋西 RC)



小林 剛
(館山 RC)



梅原 佐一
(八日市場 RC)



海老原 康之
(柏東 RC)



湊 一夫
(柏東 RC)



三田 英志
(習志野中央 RC)

ベネファクター



佐々木 るみ子
(柏東 RC)
1 回目

新ベネファクター



宇之沢 文夫
(八日市場 RC)



上野 聡
(市原 RC)

ポリオ・プラス

米山功労者



崎山 征雄
(習志野中央 RC)
31 回目



森井 康夫
(市川東 RC)
15 回目



飯生 高一郎
(八千代 RC)
11 回目



畝本 一実
(市川東 RC)
10 回目



平山 秀樹
(成田 RC)
10 回目



神崎 誠
(成田 RC)
8 回目



羽山 信一
(館山 RC)
6 回目



石川 光則
(館山 RC)
5 回目



森 和夫
(柏東 RC)
5 回目



栗田 壮一
(八日市場 RC)
5 回目



池田 博
(習志野中央 RC)
5 回目



中野 栄吉
(市川東 RC)
4 回目



加藤 仁
(館山 RC)
4 回目



川名 克己
(館山 RC)
4 回目



廣田 利夫
(市川東 RC)
3 回目



佐々木 るみ子
(柏東 RC)
3 回目



中山 忠三
(市川東 RC)
2 回目



山崎 克哉
(市原 RC)
2 回目



宇野 佐太夫
(八日市場 RC)
2 回目



福崎 隆一
(市川東 RC)
1 回目



池田 英乗
(館山 RC)
1 回目



徳倉 基宏
(東金 RC)
1 回目



熱田 文彦
(八日市場 RC)
1 回目



酒巻 秀明
(柏東 RC)
1 回目



三井 文子
(柏東 RC)
1 回目



弭間 俊則
(千葉 RC)
不動産管理
9月7日入会



加藤 良二
(市原 RC)
医療業
10月15日入会



石原 利彦
(佐倉 RC)
セレクト・コンピュータ課
11月2日入会



三木健太郎
(千葉 RC)
産業用リアル製造販売
11月16日入会



古屋 秀
(松戸 RC)
地方銀行
11月18日入会



松丸 昌史
(柏西 RC)
司法書士
11月20日入会



若林 康弘
(館山 RC)
水道工事
12月9日入会



橋高 耕平
(松戸 RC)
地方銀行
12月9日入会



小畑 凡子
(大原 RC)
葬祭業
12月10日入会

国際ロータリー第 2790 地区（千葉）出席・会員数報告（2020 年 11 月）

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				
				2020 7/1	女性	当月	女性	増減
第1グループ	市川	100.00	2	42	4	43	5	1
	市川東	100.00	2	39	2	39	1	0
	市川南	85.00	4	23	2	21	2	△2
	浦安	75.00	2	43	2	43	2	0
	市川シビック	77.00	4	33	0	32	0	△1
	浦安ベイ	83.90	3	13	2	15	3	2
	平均	86.82	2.83	32.17	2.00	32.17	2.17	0
第2グループ	船橋	82.14	2	30	0	31	1	1
	船橋西	78.66	4	28	5	27	5	△1
	鎌ケ谷	81.82	4	26	1	30	1	4
	船橋東	93.12	4	27	2	27	2	0
	船橋南	88.64	4	13	2	13	2	0
	船橋みなと	79.77	2	14	2	15	2	1
	平均	84.03	3.33	23.00	2.00	23.83	2.17	5
第3グループ	千葉葉	81.41	4	98	5	106	6	8
	新千葉	100.00	3	53	0	57	0	4
	千葉西	88.75	3	51	5	52	5	1
	千葉中央	92.00	3	26	0	27	1	1
	千葉幕張	78.43	3	37	4	35	4	△2
	千葉東	71.67	2	23	1	24	1	1
	千葉若潮	80.77	2	31	1	31	1	0
	平均	84.72	2.86	45.57	2.29	47.43	2.57	13
第4グループ	千葉南	73.40	3	51	5	50	4	△1
	市原	58.45	2	59	5	63	6	4
	千葉港	52.08	2	25	3	26	3	1
	市原中央	74.53	3	45	1	47	1	2
	千葉北	70.84	4	30	4	30	4	0
	千葉緑	73.22	2	23	2	23	2	0
	平均	67.09	2.67	38.83	3.33	39.83	3.33	6
第5グループ	木更津	89.25	2	24	3	28	3	4
	上総	55.35	4	15	0	14	0	△1
	富津中央	66.66	4	36	5	35	5	△1
	木更津東	78.06	4	43	7	43	7	0
	君津	81.82	3	57	5	57	5	0
	袖ヶ浦	86.11	3	26	4	27	4	1
	富津シティ	78.85	4	12	1	13	1	1
	平均	76.59	3.43	30.43	3.57	31.00	3.57	4
第6グループ	館山	78.20	4	49	4	49	4	0
	鴨川	84.40	3	33	5	31	5	△2
	勝浦	84.39	3	42	5	40	5	△2
	千倉	50.00	1	4	2	4	2	0
	鋸南	92.30	2	13	2	13	2	0
	館山ベイ	66.67	4	24	0	25	0	1
	平均	75.99	2.83	27.50	3.00	27.00	3.00	△3
第7グループ	茂原	85.29	2	57	5	57	5	0
	東金	80.00	2	18	2	20	3	2
	大原	100.00	4	10	1	10	1	0
	大多喜	56.79	2	6	1	8	1	2
	成田空港南	82.86	2	29	0	28	0	△1
	茂原中央	75.00	3	20	2	24	3	4
	大網	83.33	2	30	2	30	2	0
	東金ビュー	84.61	1	13	1	13	1	0
	平均	80.99	2.25	22.88	1.75	23.75	2.00	7

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				
				2020 7/1	女性	当月	女性	増減
第8グループ	銚子	83.09	4	38	4	37	4	△1
	旭	68.40	3	39	4	39	4	0
	八日市場	71.76	3	39	3	39	3	0
	銚子東	70.08	3	30	2	31	2	1
	平均	73.33	3.25	36.50	3.25	36.50	3.25	0
第9グループ	佐原	63.71	3	46	0	45	0	△1
	多古	87.10	2	19	0	18	0	△1
	小見川	89.13	2	26	0	27	0	1
	佐原香取	90.00	2	20	0	20	0	0
	平均	82.49	2.25	27.75	0.00	27.50	0.00	△1
第10グループ	成田	67.86	4	64	4	64	5	0
	八街	91.87	3	29	3	29	3	0
	印西	83.33	3	14	1	12	1	△2
	白井	79.16	4	11	1	12	1	1
	富里	58.96	3	33	1	34	1	1
	成田コスモポリタン	66.74	4	71	0	71	0	0
	平均	74.65	3.50	37.00	1.67	37.00	1.83	0
第11グループ	柏	55.16	4	64	8	64	8	0
	我孫子	76.04	3	32	3	32	3	0
	柏西	85.48	4	58	3	62	3	4
	柏東	71.20	4	34	5	35	5	1
	柏南	77.78	3	39	9	39	9	0
	平均	73.13	3.60	45.40	5.60	46.40	5.60	5
第12グループ	習志野	75.25	3	31	1	32	1	1
	八千代	90.89	4	54	0	54	0	0
	佐倉	77.09	4	36	2	35	2	△1
	八千代中央	56.60	3	26	1	26	1	0
	四街道	72.62	3	27	4	28	4	1
	習志野中央	62.75	4	45	5	47	5	2
	佐倉中央	67.00	2	23	6	23	6	0
	平均	71.74	3.29	34.57	2.71	35.00	2.71	3
第13グループ	松戸	100.00	4	60	0	62	0	2
	松戸東	88.59	4	44	0	47	0	3
	松戸北	73.78	4	33	0	33	0	0
	松戸中央	65.91	4	37	7	38	7	1
	松戸西	91.67	3	27	0	28	1	1
	平均	83.99	3.80	40.20	1.40	41.60	1.60	7
第14グループ	野田	83.03	2	55	6	56	6	1
	流山	52.92	3	16	3	17	3	1
	野田東	72.22	2	18	0	18	0	0
	流山中央	77.50	2	20	1	20	1	0
	野田セントラル	80.21	4	24	1	24	1	0
	平均	73.18	2.60	26.60	2.20	27.00	2.20	2

クラブ数 82RC

2020 年 7 月 1 日	地区会員数	2,726 人
2020 年 11 月 30 日	地区会員数	2,774 人
2020 年 7 月 1 日	地区女性会員数	205 人
2020 年 11 月 30 日	地区女性会員数	213 人
当月平均出席率		78.19%
増減		48
女性会員増減		8

女性交流会 Go!

国際ロータリー第2790地区では、フェローシップ委員会に所属する女性交流会の活動を4年前に開始いたしました。多くの女性の努力により少しずつ会員も増え、充実した会へと成長しております。現在、第2790地区の全会員数は2,774名。その中で女性会員数は213名、そのうちの100名を超える方々からご賛同とご参加を得て、前進を続けております。

多くの方に会員となっていたことは、これからの女性交流会活動への活力となり、目的に向けて一歩一歩力強く近づくところです。

〈定款の目的〉

本会は交流を通して、女性会員相互の友好を深め、クラブ・グループを越えた仲間づくりをし、会員の増強と退会の防止及びロータリアンとしての奉仕活動に努めることを目的とする。

〔今までの活動例〕

- ・ 帝国ホテルにて会議、懇親会
- ・ ホテルブルーベリーヒル勝浦での宿泊、会議、バーベキュー大会
- ・ ホテル三日月での宿泊、会議、懇親会
- ・ ポリオへの寄付活動 等々

これからの活動として、楽しい親睦に加え、奉仕活動を始めます。具体的には、千葉県にある子ども食堂154軒への寄付を行う予定です。子ども食堂は食を満たすだけでなく、信頼できるコミュニティの場として、孤立しがちな親子たちにはとても大切な場となっています。多くの皆様にご理解していただけたら幸いです。また、女性交流会からの様々な発信も考えておりますので、その時にはご協力宜しくお願い致します。

親睦と奉仕を柱にグループを超えた交流会は、千葉全域の皆様と大いに語らう場となり、今後も楽しく充実した会を目指してまいります。

女性会員の皆様が生き生きと語り合える交流会の存在は、新たな女性会員の会員増強にも大いに寄与できると確信しております。是非、ご理解とご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

より多くの女性会員の皆様のご参加をお待ちしております。

国際ロータリー第2790地区
フェローシップ委員会
女性交流会 会長 齋藤 由紀（柏南RC）

